

東京薬科大学主催「TAMAサイエンスフェスティバル」 閉会式でのあいさつ

生徒の理科研究所の辻村秀信です。今回、東京薬科大学に協力してこのTAMAサイエンスフェスティバルの論文審査に参加させていただきました。

最初に研究所の紹介をさせていただきます。みなさん生徒の理科研究所を知っていますか。ご存じないですか。生徒の理科研究所は高校生の皆さんの研究論文を論文誌に掲載して社会的に正式に公表するという事業に取り組んでいます。論文はweb上のホームページに設置された論文誌に公開します。論文誌の名称は「生徒の理科」といいます。この論文誌は、だれでもいつでも自由に読むことができます。また、Pdfファイルをダウンロードすることもできます。こうして、皆さんの研究が全国の高校生や先生方、興味のあるすべての人に知ってもらえるようになることをめざしています。

皆さんには、研究成果をまとめてぜひ「生徒の理科」に投稿していただきたいとおもいます。

もちろん、投稿論文のすべてがただちに「生徒の理科」に掲載されるわけではありません。投稿された論文は関連分野の研究者により審査され、公表する価値があると判断された論文だけが掲載されます。この審査過程では、論文を様々な点から評価し、不十分な点があれば指摘し、改善の方法を提案します。こうして数回のやり取りの後、立派な論文に仕上げたうえで論文誌に公開します。

このような生徒理科研究の審査つき論文誌は現在、日本では「生徒の理科」だけです。高校生の皆さんが立派な研究を成し遂げ、生徒の理科に投稿されるよう呼びかけます。

さて、今回の論文審査を通じて感じたことを1つだけ述べます。それは「科学論文の3つの要件」の重要さです。研究の新規性、科学的論理、信頼性の3つを「科学論文の3つの要件」といいます。「生徒の理科」に投稿された論文はすべてこの3つの基準から掲載の可否が審査されます。みなさんには研究を進める際、この3つの要件を満たすように研究を進めていただきたいと思います。

ありがとうございました。